防草緑化一体化シート
施工マニュアル

株式会社　皆建　緑化事業部

HP URL:https://bousouryokka.com/

防草緑化一体化シート　施工マニュアル
①【客土造り】

①-1　施工前

●　芝や根の深い雑草等が生えている場合は、事前に表土の鋤取り、伐根作業が必要です。(左写真参照)
●　少量の雑草しか生えていない場合、伐根作業は不要です。(右写真参照)

①-2　表土鋤取り

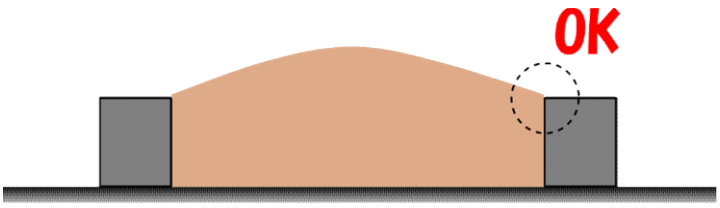
①-3　土の補てん

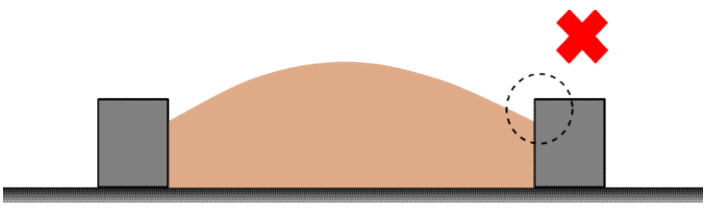
●　縁石部分より土壌が低い場合は土の補てんが必要です。(右写真参照)
●　縁石部分より土壌が高くなっている場合は土の補てんは不要です。(左写真参照)
注)　土を補てんする際に、石や砂利が混入しないように注意して下さい。

防草緑化一体化シート　施工マニュアル
①【客土造り】

①－４　転圧

● 中央部分を少し山高にしながら転圧をかけます。
注） 水たまりができないように転圧をかけて下さい。
注） アンカーピンが抜けないようにしっかりと転圧をかけて下さい。
注） 縁石部分より土壌が低くならないように注意して下さい。(下図参照)

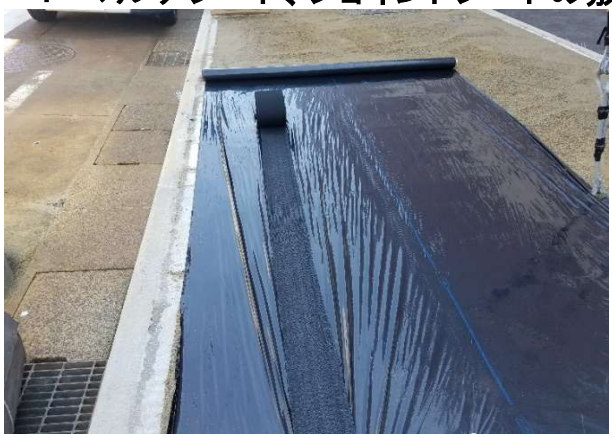




①-5　客土造り完成

防草緑化一体化シート　施工マニュアル
②【シート施工】

②－1　マルチシート、ジョイントシートの敷き込み



● マルチシートとジョイントシートを敷き込み、ジョイントシートをピンで固定します。
● ジョイントシートは、緑化シートの両端、真ん中に敷き込みます。（縁石部分は除く）
注） マルチシートを敷き込むときに、客土が出ないように敷き込みして下さい。（縁石付近・継ぎ手部分）
注） 風等でマルチシートが捲り上がる場合は、マルチシートにもピン留めをして下さい。
注） 風が強い場合は、最後まで敷き込まず、緑化シートと同時作業で敷き込みして下さい。

②－2　防草緑化一体化シート敷き込み・接着

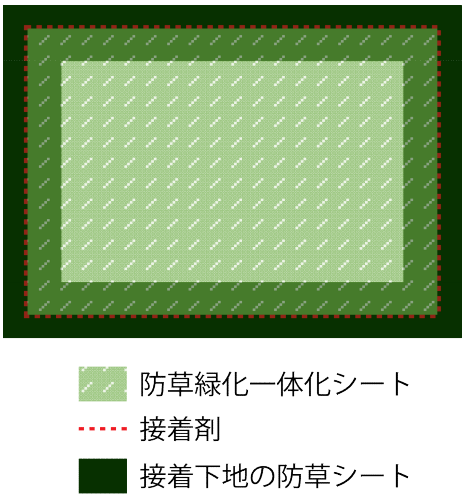
● ジョイントシートに接着剤を付け、緑化シートを敷き込みます。
注） 緑化シートにたるみがでないように敷き込みして下さい。
注） 緑化シートの継ぎ手部分に隙間ができないようにして下さい。

防草緑化一体化シート　施工マニュアル
②【シート施工】

②－3a　接着（縁石部分）

● 縁石等の端部を接着剤で固定する。
注） 縁石部分の砂埃などを除去してから接着剤を塗布して下さい。
注） 雨天時など、シートが濡れている場合も接着不良となりますので、縁石、シートともに乾いた状態で使用して下さい。

②-3b　接着（縁石が無い場合）



● 縁石部分が無い場合はシートの外側まで防草シートを敷き込む。（市販の防草シート）
● 防草シートはUピンで固定。（市販のUピン）
● 防草シートと防草緑化一体化シートを接着剤で固定する。
注）防草緑化一体化シートの脇に雑草が生えてる場合は防草シートのはみ出し長さを長くして下さい。
注）防草シートが風で捲れないようにピンの打ち込み間隔に注意して下さい。

防草緑化一体化シート　施工マニュアル
②【シート施工】

②－4　施工完了

特記事項

※　出荷時期によってはスナゴケの生育状況に差が生じるため、施工直後から1ヶ月程度、当社規定の養生をお願いする場合があります。

※　施工から2、3年の間、夏季において渇水状態が続く（3～4週間）場合に限り、散水（夕方6時頃）をしていただくか、当社規定の養生をお願いする場合があります。

※　施工場所の周りに雑草が生い茂っている場合、飛来してきた種子が発芽する可能性があります。雑草が大きくなるような場合は伐根作業をお願いします。

※　雨天時の施工は十分な接着が出来ず、シートの剥離の原因になりますのでお控えください。

※　防草緑化一体化シートの現場加工は、原則的には禁止としています。施工現場に障害物や植栽等がある場合はお気軽にご相談下さい。

【お気軽にお問合せ下さい。】

株式会社　皆建　緑化事業部
〒959-2641
新潟県胎内市若松町4-12
TEL　(0254)43-5849
FAX　(0254)43-3118
担当部長　新出　倫規
E-mail:　info@kaiken-tainai.com
HP:URL　https://bousouryokka.com

20200629　改定